

教科・科目	国語・ステップアップ国語	単位数	4（前期2＋後期2）		
		ライン	1	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を身に付ける。</p>				
使用教科書 副教材等	新編現代の国語（東京書籍） 新編言語文化（東京書籍）		中学国語をひとつひとつわかりやすく。改訂版(学研)		

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を身に付けようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1章 漢字・語句 2章 文法 3章 文学的文章の読解	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	1章 漢字・語句 3章 文学的文章の読解 4章 説明的文章の読解 5章 古典	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期2回以上、後期2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK高校講座)
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S	
前期	① 1章 漢字・語句 言葉について	前1	1		2	4/19	4/20	—	4/23	
			3		4					
	② 2章 文法 口語文法	前2	1		2	5/10	5/11	—	5/14	
			3		4					
	③	この回は、実施されません。								
	④ 3章 文学的文章の読解 場面の設定と状況の読み取り	前3	1		2	6/7	6/8	—	6/11	
			3		4					
	⑤ 3章 文学的文章の読解 気持ちの読み取り	前4	1		2	6/21	6/22	—	6/25	
3				4						
⑥ 3章 文学的文章の読解 主題の読み取り	前5	1		2	7/5	7/6	—	7/9		
		3		4						
⑦ 3章 文学的文章の読解 筆者の主張の読み取り	前6	1		2	7/19	7/13	—	7/23		
		3		4						
⑧	この回は、実施されません。									
試験	レポート前1～前6の内容		本試験		追再試		8/23	8/24	—	8/27
後期	⑨ 4章 説明的文章の読解 説明的文章	後1	1		2	10/11	10/19	—	10/15	
			3		4					
	⑩ 4章 説明的文章の読解 段落の要点と文章全体の構成	後2	1		2	10/25	10/26	—	10/29	
			3		4					
	⑪ 5章 古典 古文	後3	1		2	11/8	11/9	—	11/5	
			3		4					
	⑫ 1章 漢字・語句 5章 古典 漢文	後4	1		2	11/22	11/16	—	11/26	
			3		4					
⑬	この回は、実施されません。									
⑭ 5章 古典 和歌と漢詩	後5	1		2	12/20	12/21	—	12/24		
		3		4						
⑮ 3章 文学的文章の読解 詩・短歌・俳句	後6	1		2	1/10	1/18	—	1/14		
		3		4						
⑯	この回は、実施されません。									
試験	レポート後1～後6の内容		本試験		追再試		2/7	2/8	—	2/4

6 先生からのメッセージ

ステップアップ国語では、さまざまなジャンルの文章に触れ、言葉を使って理解したり、表現したりするための知識を広く学んでいきます。漢字や文法などの言葉についての知識やさまざまな文章の読み取り方を身に付けましょう。スクーリングやレポートで分からないことがある場合は、教科別質問教室に参加し、解決していくようにしましょう。

教科・科目	国語・現代の国語	単位数	2（前期）		
		ライン	1、2	開講期	前期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：国語総合（2単位）				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	<p>新編現代の国語（東京書籍）</p> <p>新編 現代の国語 学習書（NHK出版）</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けようとしている。
評価点	前期 50 点	前期 50 点	前期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1 自己を見つめる 2 他者に出会う 3 言葉と生活 1 4 視野を広げる 5 社会と関わる	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期				

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	前1回～前6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回に合格すること。	

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用 (NHK 高校講座)	
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	①	1 自己を見つめる 「ルリボシカミキリの青」	前1	1	2	4/19	4/20	4/21	4/23	第1回	
				3	4						
	②	2 他者に出会う 「水の東西」	前2	1	2	5/10	5/11	5/12	5/14	第3回	
				3	4						
	③	この回は、実施されません。									
	④	2 他者に出会う 「未来をつくる想像力」 メディアとの付き合い方	前3	1	2	6/7	6/8	6/9	6/11	第12回	
				3	4						
	⑤	5 社会と関わる 「鍋洗いの日々」	前4	1	2	6/21	6/22	6/23	6/25	第9回	
			3	4							
⑥	4 視野を広げる 「スキマを育む都市の緑と生命 のつながり」	前5	1	2	7/5	7/6	7/7	7/9	第7回		
			3	4							
⑦	3 言葉と生活 1 分かりやすい説明をしよう 敬語	前6	1	2	7/19	7/13	7/21	7/23			
			3	4							
⑧	この回は、実施されません。										
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/23	8/24	8/25	8/27			
後期	⑨		後1	1	2						
				3	4						
	⑩		後2	1	2						
				3	4						
	⑪		後3	1	2						
				3	4						
	⑫		後4	1	2						
				3	4						
⑬		後5	1	2							
			3	4							
⑭		後6	1	2							
			3	4							
⑮		—									
⑯											
試験			本試験	追再試							

6 先生からのメッセージ

国語は書いてあるものを読み取ったり、本文に即して考えたりしていくことが大切です。レポートは、教科書と学習書、NHK 高校講座の動画、学習メモや理解度チェックを見れば、ヒントや答えがあるので、問題に合った解答をしましょう。スクーリングやレポートで分からないことがあれば、教科別質問教室に参加し、解決していくようにしましょう。

教科・科目	国語・言語文化	単位数	2（後期）		
		ライン	1、2	開講期	後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：国語総合（2単位）				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	<p>新編言語文化（東京書籍）</p> <p>新編 言語文化 学習書（NHK 出版）</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けようとしている。
評価点	後期 50 点	後期 50 点	後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期				
後期	<p>現代文編：3 詩歌、4 小説 2</p> <p>古文編：1 古文入門、2 随筆、4 物語</p> <p>漢文編：1 漢文入門、2 漢詩、3 論語</p> <p>読書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	2 回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	後 1 回～後 6 回のすべてに合格すること。	
試験	後期 1 回に合格すること。	

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK 高校講座)
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S	
前期	①	前1	1	2						
			3	4						
	②	前2	1	2						
			3	4						
	③	前3	1	2						
			3	4						
	④	前4	1	2						
			3	4						
⑤	前5	1	2							
		3	4							
⑥	前6	1	2							
		3	4							
⑦	—									
⑧										
試験			本試験	追再試						
後期	⑨	後1	1	2		10/11	10/19	10/13	10/15	第1回
			3	4						
	⑩	後2	1	2		10/25	10/26	10/27	10/29	第25/ 26回
			3	4						
	⑪	後3	1	2		11/8	11/9	11/10	11/5	第12/13 /18回
			3	4						
	⑫	後4	1	2		11/22	11/16	11/24	11/26	第9/10 /11回
			3	4						
⑬	この回は、実施されません。									
⑭	後5	1	2		12/20	12/21	12/22	12/24	第31回	
		3	4							
⑮	後6	1	2		1/10	1/18	1/12	1/14	第20-24 回	
		3	4							
⑯	この回は、実施されません。									
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試		2/7	2/8	2/9	2/4	

6 先生からのメッセージ

国語は書いてあるものを読み取ったり、本文に即して考えたりしていくことが大切です。レポートは、教科書と学習書、NHK 高校講座の動画、学習メモや理解度チェックを見れば、ヒントや答えがあるので、問題に合った解答をしましょう。スクーリングやレポートで分からないことがあれば、教科別質問教室に参加し、解決していくようにしましょう。

教科・科目	国語・文学国語	単位数	4（前期2＋後期2）		
		ライン	2	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	<p>高等学校 標準文学国語(第一学習社)</p> <p>標準文学国語 学習課題集(第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第Ⅰ部 現代の小説(一) 現代の詩 現代の小説(二) 随想 近代の小説(一) 戦争と文学(一)	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	第Ⅰ部 近代の小説(一) 第Ⅱ部 現代の小説(三) 近代の小説(二) 近代の詩 現代の小説(四) 創作をする	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期2回以上、後期2回以上出席すること。
	放送視聴について 実施しない。 教科別質問教室について スクーリング回数に含めることができない。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録	
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK高校講座)	
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	①	現代の小説(一) 「調律師のるみ子さん」	前1	1 3	2 4	4/19	—	4/21	4/23	第1/ 2回	
	②	現代の詩 「生命は」「そこにひとつの席が」	前2	1 3	2 4	5/10	—	5/12	5/14	第3/ 4回	
	③	この回は、実施されません。									
	④	現代の小説(二) 「相棒」	前3	1 3	2 4	6/7	—	6/9	6/11	第5/ 6回	
	⑤	随想 「真珠の耳飾りの少女」	前4	1 3	2 4	6/21	—	6/23	6/25	第11/ 12回	
	⑥	近代の小説(一) 「こころ」	前5	1 3	2 4	7/5	—	7/7	7/9	第23-30 回	
	⑦	戦争と文学(一) 「バグダッドの靴磨き」	前6	1 3	2 4	7/19	—	7/21	7/23	第76-80 回	
	⑧	この回は、実施されません。									
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/23	—	8/25	8/27			
後期	⑨	現代の小説(三) 「旅する本」	後1	1 3	2 4	10/11	—	10/13	10/15	第47/48 /49回	
	⑩	近代の小説(二) 「山月記」	後2	1 3	2 4	10/25	—	10/27	10/29	第54-61 回	
	⑪	近代の詩 創作をする 「汚れつちまつた悲しみに・・・」「永訣の朝」	後3	1 3	2 4	11/8	—	11/10	11/5	第70/71 回	
	⑫	現代の小説(四) 「ひよこの眼」	後4	1 3	2 4	11/22	—	11/24	11/26	第81/82 回	
	⑬	この回は、実施されません。									
	⑭	近代の小説(一) 「鼻」	後5	1 3	2 4	12/20	—	12/22	12/24	第14-20 回	
	⑮	現代の小説(四) 「卒業」	後6	1 3	2 4	1/10	—	1/12	1/14	第72-75 回	
	⑯	この回は、実施されません。									
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	2/7	—	2/9	2/4			

6 先生からのメッセージ

文学国語では、近代以降の文学的文章（小説、随想、詩）を読み味わいます。また、登場人物の心情や場面を的確に捉える力を養い、作品から読み取った内容をもとに自分の考えを深め、表現することにも取り組みます。そして、生涯を通じて読書に親しむ態度を身に付け、自己の世界を広げましょう。

教科・科目	国語・古典探究	単位数	4（前期2+後期2）		
		ライン	3	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	<p>新編古典探究（東京書籍）</p> <p>高等学校 標準古典探究 学習書（NHK 出版）</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	古文「古文に親しむ」、「随筆を読む」 「作り物語を読む」、「和歌の世界」 漢文「漢文に親しむ」、「漢詩に触れる」	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	古文「日記を読む」、「歌物語を楽しむ」 「歴史物語を読む」、「作り物語を味わう」 漢文「史記を読む」、「三国志を読む」	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期2回以上、後期2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録		添削担当者				先生				登録	
スクーリング 回数	学 習 内 容	レポート				スクーリング実施日				メディア 利用(NHK 高校講座)	
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S		
前期	① 古文に親しむ「十訓抄」	前1	1		2	4/19	—	4/21	4/16	第2回	
			3		4						
	② 随筆を読む「方丈記」	前2	1		2	5/10	—	5/12	5/7	第5回	
			3		4						
	③	この回は、実施されません。									
	④ 漢文に親しむ「水魚の交わり」	前3	1		2	6/7	—	6/9	6/4		
			3		4						
	⑤ 作り物語を読む「竹取物語」	前4	1		2	6/21	—	6/23	6/18	第14回	
3				4							
⑥ 和歌の世界「小倉百人一首」他	前5	1		2	7/5	—	7/7	7/2	第10回		
		3		4							
⑦ 漢詩に触れる「送夏目漱石之伊予」他	前6	1		2	7/19	—	7/21	7/16			
		3		4							
⑧	この回は、実施されません。										
試験	レポート前1～前6の内容		本試験		追再試		8/23	—	8/25	8/27	
後期	⑨ 日記を読む「更級日記」	後1	1		2	10/11	—	10/13	10/8	第30回	
			3		4						
	⑩ 歌物語を楽しむ「伊勢物語」	後2	1		2	10/25	—	10/27	10/22		
			3		4						
	⑪ 史記を読む「鴻門之会」	後3	1		2	11/8	—	11/10	11/12	第25/ 26回	
			3		4						
	⑫ 歴史物語を読む「大鏡」	後4	1		2	11/22	—	11/24	11/19	第19回	
			3		4						
⑬	この回は、実施されません。										
⑭ 作り物語を味わう「源氏物語」	後5	1		2	12/20	—	12/22	12/17	第31回		
		3		4							
⑮ 三国志を読む「死諸葛走生仲達」	後6	1		2	1/10	—	1/12	1/7	第16回		
		3		4							
⑯	この回は、実施されません。										
試験	レポート後1～後6の内容		本試験		追再試		2/7	—	2/9	2/4	

6 先生からのメッセージ

古典探究では「国語総合」又は「言語文化」で学習した古文と漢文を集中して読むことで、昔の人の考えや感じ方、昔の生活を知り、現在と比較して、自分の考えを広げたり、深めたりしていきます。レポートは教科書と学習書をよく見て、NHK 高校講座の動画、学習メモ、理解度チェックも参考にしてみてください。

教科・科目	国語・国語表現	単位数	4（前期2+後期2）		
		ライン	4	開講期	前期と後期
備考					

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付ける。</p>
使用教科書 副教材等	<p>国語表現（大修館書店）</p> <p>いきいきとアライブ国語常識（浜島書店）</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	第1部 表現力を培う 1 言葉と出会う 2 伝える、伝え合う 3 小論文・レポート入門 4 自己PRと面接	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	第1部 表現力を培う 5 メディアを駆使する 6 会話・議論・発表 第2部 表現を楽しむ 1 言葉で遊ぶ 6 働く人にインタビュー	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	前期2回以上、後期2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	前1回～前6回、後1回～後6回のすべてに合格すること。	
試験	前期1回、後期1回、それぞれに合格すること。	

「メディア利用（NHK 高校講座）」は学習を深めるために活用してください。NHK 高校講座の番組名は⑥、⑦ページにあります。
放送視聴ではありませんのでスクーリングの出席とは関係ありません。

5 学習の記録

		添削担当者					先生	登録		
スクーリング回数	学習内容	レポート				スクーリング実施日				メディア利用(NHK 高校講座)
		回	提出日・合格			日S	月S	火S	木S	
前期	①	1 言葉と出会う ・言葉と表記 ・整った文を書く	前1	1	2	4/19	—	4/21	4/16	第2回
	3	4								
	②	1 言葉と出会う ・相手に応じた言葉遣い ・分かりやすい文を書く	前2	1	2	5/10	—	5/12	5/7	
	3	4								
	③	この回は、実施されません。								
	④	2 伝える、伝え合う ・絵や写真を見て書く ・マイニュース記事を書こう	前3	1	2	6/7	—	6/9	6/4	第5回
	3	4								
	⑤	3 小論文・レポート入門 ・小論文とは何か	前4	1	2	6/21	—	6/23	6/18	第6回
3	4									
⑥	4 自己PRと面接 ・自分を見つめて ・将来の自分を考えよう	前5	1	2	7/5	—	7/7	7/2		
3	4									
⑦	4 自己PRと面接 ・面接にチャレンジ	前6	1	2	7/19	—	7/21	7/16	第15/ 16回	
3	4									
⑧	この回は、実施されません。									
試験	レポート前1～前6の内容		本試験	追再試	8/23	—	8/25	8/27		
後期	⑨	第2部 表現を楽しむ ・言葉で遊ぶ	後1	1	2	10/11	—	10/13	10/8	第17回
	3	4								
	⑩	5 メディアを駆使する ・通信文を書き分ける ・電子メールを活用しよう	後2	1	2	10/25	—	10/27	10/22	第21/ 23回
	3	4								
	⑪	5 メディアを駆使する ・電話を使いこなす	後3	1	2	11/8	—	11/10	11/12	第22回
	3	4								
	⑫	第2部 表現を楽しむ ・働く人にインタビュー	後4	1	2	11/22	—	11/24	11/19	
	3	4								
⑬	この回は、実施されません。									
⑭	5 メディアを駆使する ・手紙の書き方	後5	1	2	12/20	—	12/22	12/17		
3	4									
⑮	6 会話・議論・発表 ・相手や場面に応じた会話 ・敬語	後6	1	2	1/10	—	1/12	1/7	第13回	
3	4									
⑯	この回は、実施されません。									
試験	レポート後1～後6の内容		本試験	追再試	2/7	—	2/9	2/4		

6 先生からのメッセージ

国語表現では、正しい表記（主に漢字）、自分の思いや考えを適切な言葉を使って表現すること、実社会で必要なコミュニケーションの仕方やそれに関わる知識やマナーについて学びます。自分の将来について深く考えたり、考えたことを言葉で表現したり、他者にインタビューをしたりする活動があります。漢字や作文、コミュニケーションが得意な人に向いている科目です。